

関西G空間フォーラム

日時：平成26年11月27日（木） 9：30～17：00
会場：薬業年金会館
主催：国土地理院近畿地方測量部、（一社）地理情報システム学会関西支部
（公社）日本測量協会関西支部、（一社）大阪府測量設計業協会

出展内容

UAV等によるリモートセンシング&写真測量

UAVは調査業務から設計業務まで幅広い利活用が可能である。GPSを搭載したUAVは、人間が立ち入ることができない場所や直接見ることができない場所も容易に飛行することができ、撮影した動画・静止面を無線で転送することにより、離れた場所でも撮影位置を把握しながら、状況確認を行うことができる。

このUAVを利用した「土砂災害現況調査」や、同じく遠隔操作ができる高所カメラ他による「点検調査」の展示を行いました。

- ① UAV機器の展示
- ② UAVによる動画撮影や静止面撮影とデータ処理の解説
- ③ UAVによる土砂災害現況調査の実施状況及び3次元地形モデルの解説
- ④ 高所カメラによるクラック等の画像判読調査

展示状況

国土地理院近畿地方測量部をはじめ、（公社）日本測量協会、（一社）大阪府測量設計業協会など弊社を含めて、全部で13のブースで展示された。その中で、弊社は、会場の入口の入口の入り口で、人目につきやすい場所でもあり、見学に来られたほとんどの人に立寄っていただいた。見学者の内訳としては、官公庁の人が約3割、民間企業関係の人が約7割で、大学の先生方にも見学していただいた。

また、展示会と同時に別フロアで講演会も開催され、「関西地域GIS自治体意見交流会」において、和歌山県森林・林業局の方が発表された「和歌山県の森林GISについて」で紹介された**森林GIS**は、平成23年度に弊社がシステム開発及びデータ整備を行いました。



かんこう展示風景